

## PRIMERGY ES210 取扱説明書への追記と修正

このたびは、弊社の PRIMERGY(プライマジー) ES210 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本サーバに添付されております「PRIMERGY ES210 取扱説明書(P3F1-0010-02)」をはじめとする本装置に添付されるマニュアルに内容の追加・訂正がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読み下さるようお願いいたします。

平成 13 年 7 月  
富士通株式会社

### 概要

#### 1. 運用上の注意事項

(1)	ディスプレイドライバに関する注意事項	1
(2)	NetWare5.1 ご使用時の注意事項	2
<b>2. PRIMERGY ES210 取扱説明書への追記と修正</b>		
(1)	2.1 梱包物の確認	3
(2)	3.3 電源を切る	3
(3)	5.6.1 拡張カードの種類	5
(4)	ハードディスクアクセスランプ点灯ケーブルについて	7
(5)	SCSI アレイカード / S C S I アレイコントローラカードを使用した接続形態	8
(6)	6.2 SCSI アレイコントローラカード使用時の注意	9
(7)	RAID カード追加に伴う OS インストール手順の追加	10
(8)	6.5.4 NetWare5.1 のインストール	13
(9)	付録 A.1.1 本体仕様	14

### 1. 運用上の注意事項

#### (1) ディスプレイドライバに関する注意事項

Windows NT Server 4.0 及び Windows 2000 Server でのディスプレイドライバに関する注意事項を以下に示します。

- Windows NT Server 4.0において、3D(OpenGL)のプログラムを使用した場合、画面の表示の乱れや、3D のプログラムが異常終了する場合があります。その場合は、『画面のプロパティ』の設定で、色数を 256 色(8 ビット)または 16777216 色(24 ビット)に設定し運用してください。
- Windows NT Server 4.0において、カラーパレットに True Color を設定している場合、Regedt32 を起動するとレジストリエディタ内のアイコンが表示されないことがあります。Regedt32 をお使いになる時は True Color 以外を設定してください。
- Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server において、『画面のプロパティ』のスクリーンセーバーの設定で、ラインアートを選択すると画面がちらつくことがあります、ディスプレイの故障ではありません。
- Windows 2000 Server 上のデバイスマネージャを表示すると、モニタが 2 つ表示されますが、運用上特に支障はありません。

- Windows NT ダウン画面(ブルースクリーン)において画面が乱れますが、ディスプレイの故障ではありません。ハードディスクのアクセスランプが消えていることを確認のうえ、電源を再投入してください。

## (2)NetWare5.1 ご使用時の注意事項

PRIMERGY ES210において、NetWare5.1をご使用する場合に発生する問題に関して、以下の注意事項があります。

### GP5-127 を使用したソフトミラー環境での問題

SCSI カードの負荷が高い場合、HDD 異常と OS が誤検出する場合があります。これにより、ミラー時に HDD が切り離される等の現象が発生します。

NetWare5.1をご使用になる場合はNetWare5.1 L10 アップデートパック U001 以降が必須となります。

## 2.『PRIMERGY ES210 取扱説明書』への追記と修正

『PRIMERGY ES210 取扱説明書』に対する追加・訂正記事を以下に記します。

### (1)「2.1 梱包物の確認」( P12)

注意事項を追加。

「SupportDesk Product サービス」証書が添付されている場合には、保証書は添付されません。

### (2)「3.3 電源を切る」( P28)

サーバ本体の電源を切る場合のポイントの追加、および Windows 2000 Server でのスタンバイ機能および休止機能についての注意事項を追加。

誤：

#### 3 サーバ本体前面の電源スイッチを2回押します。

Windows 2000 Server 以外の OS の場合は、電源スイッチを 2 回押します。電源スイッチを 1 回押すと、故障ランプが点滅します。点滅している間に電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

電源切断時の注意事項について(OS が Windows 2000 Server の場合)

- ・電源スイッチで「スタンバイ状態」または「休止状態」に移行させる場合、2回電源スイッチを押す必要があります。
- ・「スタンバイ状態」から電源スイッチを押して復帰する場合は、2回電源スイッチを押す必要があります。

正：

#### 3 サーバ本体前面の電源スイッチを2回押します。

Windows 2000 Server 以外の OS の場合は、電源スイッチを 2 回押します。電源スイッチを 1 回押すと、故障ランプが点滅します。点滅している間に電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

---

**ポイント** システムに異常が発生した場合、故障ランプが点滅している間に電源スイッチを押しても電源が切断されない場合があります。この場合、故障ランプが点滅している間に電源スイッチを 4 秒以上押し続けると、強制的に電源切断ができます。

---

電源切断時の注意事項について(OS が Windows 2000 Server の場合)

- ・電源スイッチの動作モードは、OS の設定により「スタンバイ」「休止状態」「電源オフ」の指定ができますが、OS 動作中は電源ボタンを操作しないでください。本サーバでは、スタンバイ機能や休止機能に相当する機能は BIOS やハードウェアの機能としてサポートを行っていますが、本サーバに搭載される一部のドライバやソフトウェアにおいては、当機能は未サポートとなっております。このためスタンバイ機能や休止機能に相当する機能は、本サーバではご使用できません。「スタンバイ」または「休止状態」に設定した場合、システムが不安定になる場合やハードディスクのデータが破壊される恐れがあります。

動作モードの設定については、OS に添付されている取扱説明書を参照のうえ、「電源オフ」に設定してください。

- ・OS稼動中である場合、電源スイッチを1回押し、故障ランプが点滅している間に電源スイッチを押しても電源が切斷されません。この場合、故障ランプが点滅している間に電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源切斷ができます。

なお、上記の場合に以下のメッセージが表示されたり、イベントログに「システムをスリープにできませんでした」というログが格納される場合がありますが、ディスプレイ及びシステムの運用上には問題ありません。メッセージに応答し、そのまま運用を継続してください。

「‘(規定のモニタ)’デバイスのドライバが原因で、コンピュータがスタンバイ状態に入れません。

アプリケーションを全て閉じてから、もう一度やり直してください。問題が解決しない場合は、そのドライバを更新することをお勧めします。」

(3) 「5.6.1 拡張カードの種類」( P141)

搭載可能な拡張カード一覧に新たに GP5-151 を追加する。

誤:

**搭載可能な拡張カード**

搭載カード(型名)		バス	搭載枚数	備考
SCSIカード	GP5-127	PCI	最大3 合計最大3	内蔵・外付けSCSI装置接続用
IDEアレイコントローラカード		PCI	最大1	内蔵アレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード	GP5-143	PCI	最大1	内蔵アレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード	GP5-145	PCI	最大1	外付けアレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード	GP5-146	PCI	最大1 合計最大2	外付けアレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード + SCSIカード			合計最大3	
LANカード	GP5-181	PCI	最大3	10BASE-5/2/T
LANカード	GP5-183	PCI	最大1	1000BASE-SX
LANカード	GP5-185	PCI	最大3	100BASE-TX/10BASE-T
LANカード	GP5-186	PCI	最大1	100BASE-TX/10BASE-T, Dual
LANカード	GP5-187	PCI	最大3	100BASE-TX/10BASE-T, IPsec
クラスタキット4	GP5S634	PCI	最大1 合計最大3 (*)	
RS-232Cカード	GP5-162	PCI	最大2	OSがNetWareの場合は最大1
通信カードV/X	GP5-163	PCI	最大2	
ISDNカード	GP5-165	PCI	最大2 合計最大3	
サーバモニタモジュール	GP5-SM103	PCI	最大1	
サーバマネージメントアシスト ボード	GP5-SMB101	PCI	最大1	
FAXモデムカード	FMV-FX532	PCI	最大1	
FAXモデムカード	FMV-FX533	PCI	最大1 合計最大1	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード	GP5-161	PCI	最大4	

\*) LANカードの最大搭載枚数は3枚ですが、GP5-186を含む場合は最大枚数は2枚になります。

正:

### 搭載可能な拡張カード

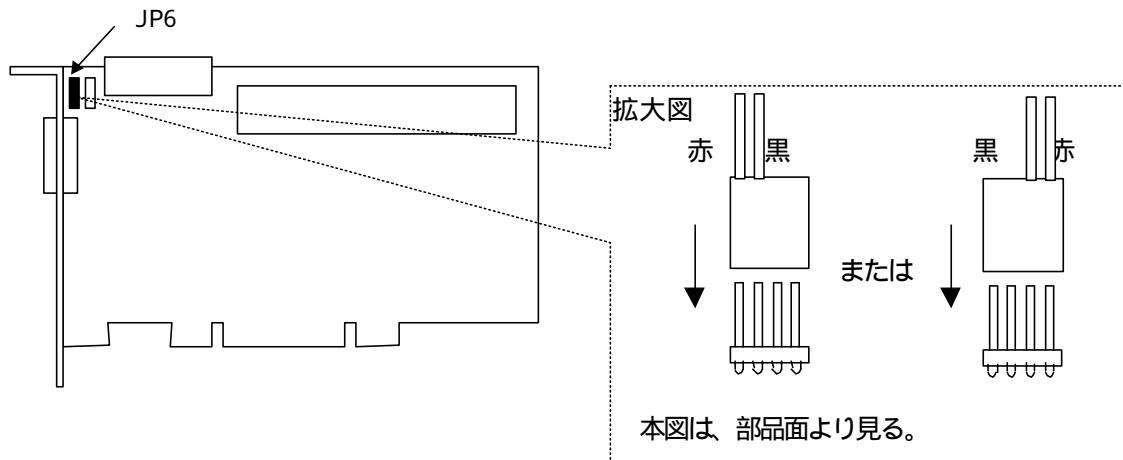
搭載カード(型名)			バス	搭載枚数	備考
SCSIカード	GP5-127	PCI	最大3 合計最大3	内蔵・外付けSCSI装置接続用	
IDEアレイコントローラカード		PCI	最大1	内蔵アレイシステム用	
SCSIアレイコントローラカード	GP5-151	PCI	最大1	内蔵アレイシステム用 標準搭載のみ	
SCSIアレイコントローラカード	GP5-143	PCI	最大1	内蔵アレイシステム用	
SCSIアレイコントローラカード	GP5-145	PCI	最大1	外付けアレイシステム用	
SCSIアレイコントローラカード	GP5-146	PCI	最大1 合計最大2	外付けアレイシステム用	
SCSIアレイコントローラカード + SCSIカード			合計最大3		
LANカード	GP5-181	PCI	最大3	10BASE-5/2/T	
LANカード	GP5-183	PCI	最大1	1000BASE-SX	
LANカード	GP5-185	PCI	最大3	100BASE-TX/10BASE-T	
LANカード	GP5-186	PCI	最大1	100BASE-TX/10BASE-T, Dual	
LANカード	GP5-187	PCI	最大3	100BASE-TX/10BASE-T, IPsec	
クラスタキット4	GP5S634	PCI	最大1 合計最大3 (*)		
RS-232Cカード	GP5-162	PCI	最大2	OSがNetWareの場合は、 最大1	
通信カードV/X	GP5-163	PCI	最大2		
ISDNカード	GP5-165	PCI	最大2 合計最大3		
サーバモニタモジュール	GP5-SM103	PCI	最大1		
サーバマネージメントアシスト ボード	GP5-SMB101	PCI	最大1		
FAXモデムカード	FMV-FX532	PCI	最大1		
FAXモデムカード	FMV-FX533	PCI	最大1 合計最大1		
ISDN接続G3/G4FAX通信カード	GP5-161	PCI	最大4		

\*) LANカードの最大搭載枚数は3枚ですが、GP5-186を含む場合の最大枚数は2枚になります。

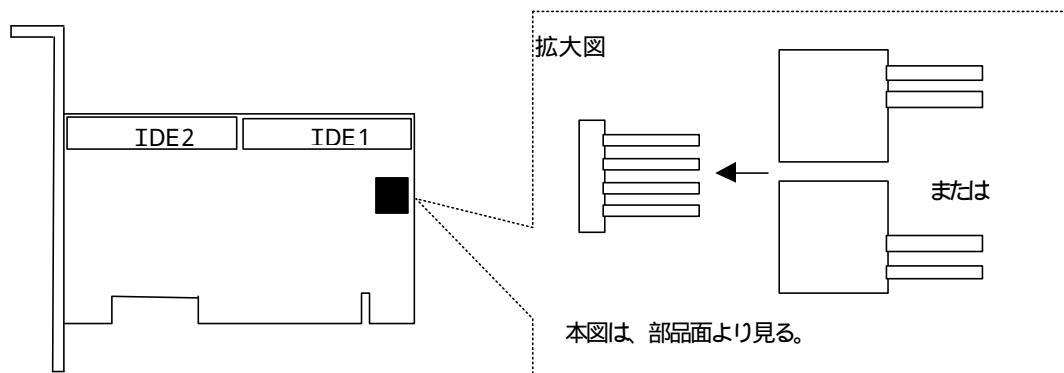
(4) ハードディスクアクセスランプ点灯ケーブルについて( P148)

SCSI アレイコントローラカード(GP5-151)の場合の図を追加、また IDE アレイコントローラカードの場合の図を修正。

[SCSI アレイコントローラカード(GP5-151)の場合]



[IDE アレイコントローラカードの場合]



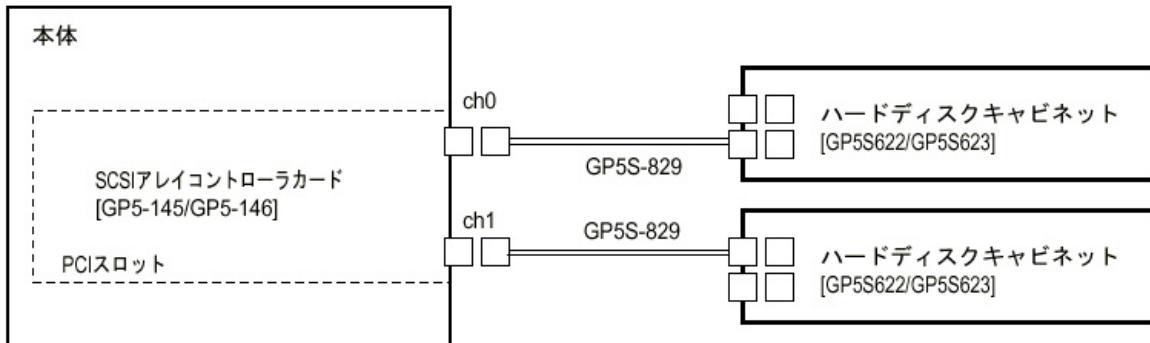
## (5)SCSI カード /SCSI アレイコントローラカードを使用した接続形態( P158)

SCSIケーブルの型名を GP5S-829 から GP5S-832 に修正。

誤:

### (5) ハードディスクキャビネットを追加し、大容量アレイシステムを構築する形態

[SCSI アレイコントローラカード(GP5-145/GP5-146)とハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)の接続形態]

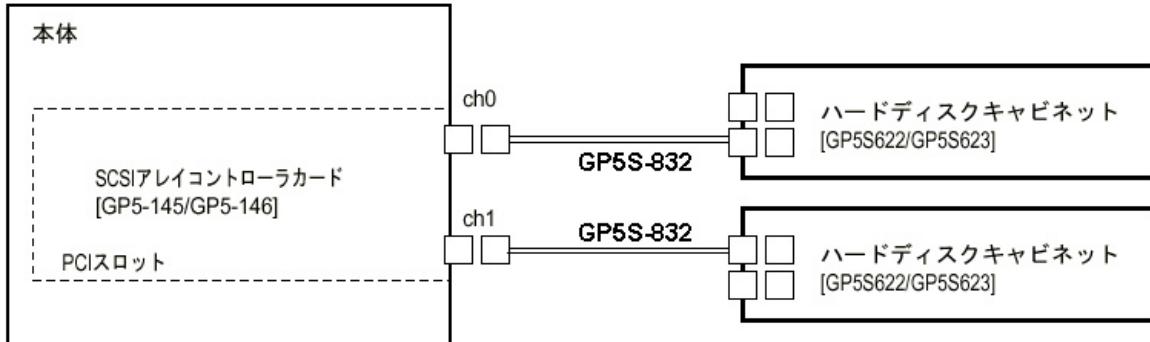


- ・本サーバに接続できるハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)は最大 2 台です。
- ・SCSI アレイコントローラカード(GP5-145/GP5-146)1 枚には、ハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)を 2 台接続可能です。
- ・ハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)を接続する場合は、ハードディスクキャビネットに添付の取扱説明書を参照してください。

正:

### (5) ハードディスクキャビネットを追加し、大容量アレイシステムを構築する形態

[SCSI アレイコントローラカード(GP5-145/GP5-146)とハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)の接続形態]



- ・本サーバに接続できるハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)は最大 2 台です。
- ・SCSI アレイコントローラカード(GP5-145/GP5-146)1 枚には、ハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)を 2 台接続可能です。
- ・ハードディスクキャビネット(GP5S622/GP5S623)を接続する場合は、ハードディスクキャビネットに添付の取扱説明書を参照してください。

## (6) 「6.2 SCSI アレイコントローラカード使用時の注意」( P178)

SCSI アレイコントローラカード(GP5-151)の設定を追加。

### ・SCSI アレイコントローラカードの設定

[SCSI アレイコントローラカード(GP5-151)の場合]

Storage Manager on ROM (SMOR)を起動して確認します。

SMOR の起動方法は、次のとおりです。

1 サーバ本体の電源を入れます。

2 画面に I2O BIOS のメッセージが表示されたら、[Ctrl]+[A]キーを押します。

SMOR が起動します。

SMOR を起動した後、SmartROM 設定画面およびコントローラ情報ウィンドウの Configuration タブ、Bus Configuration タブで設定を確認します。

SMOR の操作方法、および各設定の確認、変更方法はカード添付のマニュアルを参照してください。  
SmartROM 設定画面で、以下のように設定されていることを確認してください。

コントローラパラメタ	設定値
Enable Bootable CD-ROMs	Disabled
Scan Delay	Default
EBDA Relocation	Disabled
Enable Extended Int13	Enabled

さらにすべての SCSI アレイコントローラカードおよびコントローラバスについて、コントローラ情報ウィンドウの Configuration タブおよび Bus Configuration タブで以下のように設定されていることを確認してください。

パラメタ	設定値
・ Configuration タブ	
PCI NWI Enable	Enabled
Boot Enable	Enabled (選択しているアレイコントローラカードから OS を起動する場合) Disabled (選択しているアレイコントローラカードから OS を起動しない場合)
・ Bus Configuration タブ	
ID	7
Type	Ultra160
Width	16 Bit
Transfer Rate	Ultra160
Termination	Auto
TERMPWR	On

## (7) RAIDカード追加に伴うOSインストール手順の追加

SCSIアレイコントローラカード(GP5-151)の追加により、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0およびNetWare5.1でのインストール手順を追加する。また、管理ツールとしてStorage Managerユーティリティを追加する。

### ・「6.3.3 Windows 2000 Server のインストール」( P182)

#### インストール手順

以下に、Windows 2000 ServerをWindows 2000 ServerのCD-ROMからインストールする手順について説明します。

##### [SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合]

サーバ本体に実装のSCSIアレイコントローラカード配下にWindows 2000 Serverをインストールするハードディスクが接続されている装置を対象にしています。

##### 1 Windows 2000 Server のCD-ROM を準備します。

サーバの電源投入直後にWindows 2000 ServerのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。このとき、フロッピディスクドライブにフロッピディスクが入っていないことを確認してください。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に以下のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD . . .

この場合、本メッセージが表示されている間に、任意のキーを押すことでCD-ROMからブートします。

##### 2 Windows 2000 Server セットアップ画面が表示されます。

##### 3 手動でドライバを組み込みます。

セットアップ画面表示直後に以下のメッセージが画面下に表示されますので、[F6]キーを押します。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver . . .

---

**ポイント** このメッセージは、セットアップ画面(青い画面)が表示された直後の僅かな時間しか表示されませんので、画面が青色に変わった後すぐに[F6]キーを押してください。

---

##### 1 SCSI アレイコントローラを手動で組み込みます。

以下のオプションが表示されたら[S]キーを押します。

Setup could not determine the type of one or more mass storage device installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, setup will load support for the following mass storage device(s).

##### 2 「Press insert the disk labeled Manufacture-supplied hardware support disk into Drive A:」というメッセージが表示されたら、「GP5-150/151 Windows 2000 Driver & Storage Manager Disk1」をフロッピディスクドライブにセットし、[Enter]キーを押します。

次のような画面が表示されます。

You have Chosen to configure a SCSI Adapter for use with Windows 2000, using a device support disk provided by an adapter manufacturer.

Select the SCSI Adapter you want from the following list, or press ESC to return to the previous screen.

**3 以下を選択します。**

Adaptec I2O RAID Host Adapters for Windows 2000

**4 画面に表示されるメッセージに従ってインストールをすすめてください。なお、この後のインストール中にフロッピィディスクの挿入を求められますので、以下のフロッピィディスクを指示に従ってフロッピィディスクドライブにセットしてください。**

GP5-150/151 Windows 2000 Driver & Storage Manager Disk1

**4 インストール作業を続行します。**

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。以降、セットアッププログラムおよび「Windows 2000 Server ファーストステップガイド」の指示に従って、Windows 2000 Server のインストールを続行します。

---

**注意 再起動時の注意**

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するメッセージを表示します。  
この場合、自動的に再起動するのを待ってください。

---

以降は、本体取扱説明書( P184)を参照して、作業を行ってください。

・「**6.4.3 Windows NT Server 4.0 のインストール**」( P190)

**インストール手順**

以下に、Windows NT Server4.0 をインストールする手順について説明します。

**[SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合]**

サーバ本体に実装の SCSI アレイコントローラカード配下に Windows NT Server4.0 をインストールするハードディスクが接続されている装置を対象にしています。

**1 電源投入前にWindows NT Server 4.0 のセットアップディスク1を準備します。**

Windows NT Server 4.0 のセットアップディスク 1をフロッピィディスクドライブにセットし、サーバの電源を入れます。

このとき、CD-ROM ドライブに CD-ROM が入っていないことを確認してください。

**2 Windows NT Server セットアップ初期画面が表示されます。**

セットアップ初期画面の指示に従って、セットアップディスクの交換を行います。

**3 Windows NT Server セットアップ画面が表示されます。**

**4 手動でドライバを組み込みます。**

セットアップ画面の指示に従って、ディスクコントローラの組み込み画面に移行します。

「大容量記憶装置の検出を省略して…」を選択するので、ここで [S]キーを押し、検出のスキップを行います。

**1 SCSI コントローラを手動で選択します。(SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合)**

GP5-151 を搭載している場合、「Windows NT で使用する SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、

または特殊なディスクコントローラ…」を選択するので、[S]キーを押し、続けてリスト内の

その他 (ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)

を選択します。

「GP5-150/151 Windows NT Driver & Storage Manager Disk1」をフロッピィドライブにセットし、[Enter]キーを押します。

リスト内の

Adaptec I2O RAID Host Adapters for NT 4.0  
にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

**5 選択したコントローラが表示されます。**

「セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました：」の画面において以下が表示されていることを確認し、[Enter]キーを押します。

Adaptec I2O RAID Host Adapters for NT 4.0

**6 セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。**

このとき、Windows NT Server の CD-ROM を入れる旨のメッセージが表示されたら、Windows NT Server の CD-ROM をセットします。

・「**6.5.5 NetWare 5.1 のインストール(SCSI アレイコントローラカード使用時)**」( P216)

インストール手順

**1 ハードディスクユニットの区画設定、DOS 基本ファイルのコピーを行い、NetWare5.1 のインストーラを起動します。**

ここまで手順については、「6.5.4 NetWare5.1 のインストール」( 213 ページ)を参照してください。

**2 インストーラの指示に従って、作業を進めていきます。**

**3 ディスクドライバが検出されます。**

[記憶アダプタ]に「IDEATA」、「ADPT160M」、「I2OPCI」が表示されます。

**4 [NetWare5.1 の場合] すでに組み込まれているドライバを選択解除します。**

[記憶アダプタ]にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

「I2OPCI.NLM」にカーソルを合わせ、[Delete]キーを押します。

**5 ディスクドライバをインストールします。**

ドライバの追加を選択するため、[Insert]キーを押し、リストにないドライバを選択するため、「Insert」キーを押します。さらに、別のバスを指定するため[F3]キーを押します。

**6 フロッピィディスクドライブに「GP5-150/151 NetWare Driver & Storage Manager Disk1」を挿入し、以下のコマンドを入力します。**

A:YNW5 [Enter]

ディスクドライバがコピーされ、「ドライバ名」に「I2OPCI.NLM」が表示されます。

**7 [追加ドライバオプション] の [ドライバサマリに戻る] を選択し、インストールを続行します。**

**8 記憶デバイスを選択します。**

「次の ADAPTER をサポートする複数のドライバが見つかりました」の画面で、「BKSTROSM.HAM」を選択します。

**9 ネットワークドライバをインストールします。**

[記憶デバイス]に「BKSTROSM」、「IDECD」と表示され、[ネットワークボード]に「CE100B」が表示されます。

**10 以降、インストーラおよび、NetWare5.1 に添付されたマニュアルの指示に従って、NetWare5.1 のインストールを続行します。**

・**Storage Manager ユーティリティの追加** ( P186, P198, P217)

Storage Manager ユーティリティを追加する。

**SCSI アレイコントローラカード 管理ツールのインストール**

**(SCSI アレイコントローラカード(GP5-151)をご使用の場合)**

- ・ Storage Manager ユーティリティ

Storage Manager は、アレイコントローラカードおよびディスクアレイを管理するためのユーティリティです。

**(8) 「6.5.4 NetWare 5.1 のインストール」( P214)**

「OS のインストール」手順の項3 のディスクドライバ名称を修正する。

**OS のインストール**

**誤:**

3 ディスクドライバをインストールします。

- ・ IDE ハードディスクにインストールする場合

[記憶アダプタ]に[IDEATA.HAM]が表示されていることを確認します。

- ・ SCSI ハードディスクにインストールする場合

[記憶アダプタ]に[IDEATA.HAM], [AIC78U2.HAM]が表示されていることを確認します。

**正:**

3 ディスクドライバをインストールします。

[記憶アダプタ]に[IDEATA.HAM], [SYM8XXNW.HAM]が表示されていることを確認します。

(9)「付録 A.1.1 本体仕様」( P258)

Linux タイプの追加にともない、以下の記述を追加いたしました。

PRIMERGY ES210 (発表月: 2001年1月)

モデル		Linux タイプ
型名	Pentium® III 800MHz	GP52BB1G3
	Pentium® III 850MHz	GP52BC1G3
	Pentium® III 1GHz	GP52BL1G3
CPU	周波数(2次キャッシュ)	Pentium® III 800MHz / 850MHz / 1GHz (256KB)
	マルチ数	1 (最大 2)
メモリ	標準	128MB (128MB DIMM×1枚)
	増設単位	64 / 128 / 256 MB (DIMM1枚構成)
	内蔵最大	4スロット 1GB (256MB DIMM×4枚)
ビデオ RAM 容量		4MB VGAチップ: ATI RAGE XL
グラフィックス		1280×1024, 1024×768, 800×600, 640×480 表示色: 解像度、OSなどによって異なる
サーバモニタモジュール		-
内蔵 5インチベイ		3ペイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROMユニット、DATユニット、光磁気ディスクユニット、 1/4インチ CRMTユニット、ハードディスクユニット
内蔵 3.5インチハードディスクベイ	標準搭載	40倍速 CD-ROMユニット (ATAPI)
		3ペイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)
	標準	30.7GB
	増設単位	IDE: 30.7GB, SCSI: 9.1GB / 18.2GB / 36.4GB
	内蔵最大	36.4GB × 3ペイ + 18.2GB = 127.4GB
拡張スロット		PCIスロット×3 (IDEアレイタイプでは、IDEアレイコントローラカードで1スロット占有済み)
フロッピィディスクドライブ		3.5インチ (1.44MB / 720KB) 標準搭載
インターフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T)×1 (ベースボード標準搭載) シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2
キーボード / マウス		標準添付
外形寸法		横幅 210mm × 奥行き 473mm × 高さ 427mm
質量		最大 21Kg
内蔵時計精度		誤差 2~3 分 / 月
消費電力		最大 220W (最大 792KJ/h)
電源		AC100V (50 / 60Hz) / 二極接地型
エネルギー消費効率 (*2)		Q区分 0.044 (Pentium® III 800MHz) Q区分 0.041 (Pentium® III 850MHz) Q区分 0.035 (Pentium® III 1GHz)

\*2) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。  
本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

- 以上 -